

# Increased expression of CXCR3 axis components and MMP families in pediatric patients with inflammatory bowel disease

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2014-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 神保, 圭佑 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001564">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001564</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1501 号

## Increased expression of CXCR3 axis components and MMP families in pediatric patients with inflammatory bowel disease

(小児の炎症性腸疾患における CXCR3 関連分子および MMP ファミリーの発現に関する検討)

神保 圭佑 (じんぼ けいすけ)

博士 (医学)

### 論文内容の要旨

小児の炎症性腸疾患 (IBD)は成人例と比較し、腸が広範に障害され、また病変の進行が早いことが特徴であるが、その病態は十分には解明されていない。

小児の IBD の発症機序を解明するため、急性期と寛解期のクローン病 (CD)・潰瘍性大腸炎 (UC)の患児と正常対象それぞれ 3 名の腸粘膜をマイクロアレイにて解析し、炎症性遺伝子の発現について検討した。加えて、マイクロアレイで急性期の CD と UC 患児に過剰発現していた遺伝子の評価のために各群からそれぞれ 6 名の児を抽出し、リアルタイム RT-PCR と免疫組織染色を行った。

マイクロアレイ解析では CXCL9, 10, 11 を含む 8 つの遺伝子と MMP-1, -3, -7, -10 を含む 15 個の遺伝子が、それぞれ急性期の CD (fold change>10,  $P<0.05$ )と急性期の UC (fold change>5,  $P<0.05$ )において過剰発現していた。これらと同様の変化は RT-PCR でも確認され、免疫組織染色でも活動期の CD・UC において CXCL9, 10, 11, CXCR3, MMP-1, -3, -7, -10 の過剰発現を認めた。

以上の所見から、小児の IBD の病態に CXCR3 関連分子と MMP ファミリーが関与している可能性が示唆された。

略語:

IBD Inflammatory bowel disease 炎症性腸疾患  
CD Crohn disease クローン病  
UC Ulcerative colitis 潰瘍性大腸炎  
CXCL Chemokine (C-X-C motif) ligand  
CXCR Chemokine (C-X-C motif) receptor  
MMP Matrix metalloproteinase